京都中央市場新聞

〈発行所〉
京都市中央卸売市場協会
郵便番号　600-8847
京都市下京区朱雀分木町
京都市中央卸売市場
（関連11号棟２階）
電話　075－323－6777
ＦＡＸ　075－323－6778

市場の夏を楽しむ
京都市中央市場2017夏まつり開催

7月29日(土)、本市場恒例の夏まつりが市場開設90周年の冠をつけて開催された。今年は施設整備の影響により例年より1か月早い日程となり、1万人の来場者が市場の夏を楽しんだ。主催は京都市中央卸売市場第一市場開設90周年記念事業実行委員会(実行委員長:池本周三京都市中央卸売市場協会会長)と京都市中央卸売市場協会(会長:池本周三京都全魚類卸協同組合理事長)、実施運営は夏まつり実行委員会(実行委員長:奥村隆司市場六団体青年会代表)。

午後4時45分からの開会式では、内田隆京都市中央卸売市場協会副会長が「恒例の夏まつりにご来場いただき、ありがとうございます。開設から90年を経過し施設が老朽化しているため、10年かけて工事を行っています。近隣の皆様にはご迷惑をおかけすることもあるが、よろしくお願いしたい。暑い中、限られた時間をお楽しみください」と挨拶。来賓の門川大作京都市長からは「京都市場は京都の宝。10年計画の施設整備では、侃々諤々の議論を行いながら透明性を確保して、皆様に信頼される市場を作り上げている。この夏まつりでも京都市場を流通した食材をお召し上がりください」と祝辞を述べた。折野好信徳島県大阪本部本部長からは、90周年への祝いの言葉とともに今年初出荷の梨やすだち、鱧の試食、大阪天水連のPRがあった。

午後5時から会場の左右で物販が行われ、六団体青年会では、マグロのステーキや焼きとうもろこし、フランクフルト、焼きイカ、からあげ、串焼きステーキなどが販売された。青果協会では賀茂なす、ゴーヤ、桃など、水産協会ではちりめんじゃこのつかみ取りや練製品などが販売された。会場南の徳島県のトラック「新鮮なっ！とくしま号」では、試食を通じて徳島県産の食材のPRが行われた。

ステージでは、マグロの解体ショーや七条中学校吹奏楽部の演奏、ダンスなどの華やかなパフォーマンスが繰り広げられた。徳島県名物阿波踊りでは、鉦や太鼓が打ち鳴らされるなか、十数名の踊り手が静と動を取り混ぜた舞を披露した。閉会式は、奥村隆司青年会代表の挨拶と大石副会長の三本締めで締めくくられた。

開会式で挨拶する内田隆
京都市中央卸売市場協会副会長

祝辞を述べる門川大作京都市長

京都全魚類卸協同組合青年会によるマグロの解体

徳島県…トラック「新鮮なっ！とくしま号」によるPR

魚屋道を受け継いでいく
第64回全水商連全国京都大会

9月17日(日)、第64回全水商連全国京都大会がホテルグランヴィア京都で開催された。同大会は、全国水産物商業協同組合連合会(会長:永井良和)が諸課題について議論を深め、組合員の相互理解や情報の共有化を図り、水産物の安定的な共給を通じて地域社会に貢献する決意を内外に宣言するために、毎年テーマを設けて開催している。今年の実施団体は京都水産物商業協同組合(理事長:岡本勲)で、テーマは「道～DOU～」。会場には、来賓として丸山雅章農林水産省大臣官房審議官、山田啓二京都府知事、門川大作京都市長、大石光二京都市中央卸売市場協会副会長など33名、全国の組合員311名、実行委員会の京都水産物商業協同組合関係者96名のあわせて約440名が出席し、「街の魚屋」としての使命について考え、親交を深めた。

はじめに、永井良和全国水産物商業協同組合連合会会長が、今回のテーマを「道～DOU～」とした経過を交えた挨拶を行い、次に岡本勲実行委員長(京都水産物商業協同組合理事長)が「昭和29年2月に第1回全国大会が現京都市勧業館で開催され、今日まで継承されてきた。多くの先達と全国の仲間の力を誇りに思う。水産物小売業界を取り巻く環境は厳しいが、諸課題について議論を深め日本の魚食文化を継承する希望の持てる大会にしたい」と歓迎の挨拶をした。

その後、有路昌彦近畿大学世界経済研究所水産・食料戦略分野教授による基調講演が行われ、地域経済に即効性のある景気対策の実施を求める決議を採択した。次回の開催の熊本県へ大会旗が引き継がれたあと、懇親会と交流会が行われた。

開会挨拶をする
岡本勲京都水産物商業協同組合理事長

祝辞を述べる
大石光二京都市中央卸売市場協会副会長

京都青果協会がアジア国際果実・野菜マーケティング展に出展

9月6日(水)～8日(金)、香港のアジアワールド・エキスポ／香港で、アジア国際果実・野菜マーケティング展が開催され、京都市中央市場、京都青果協会、㈱ローヤルが出展した。京都市場関係の出展は4年目。

同展示会は、アジアを代表する生鮮果実や野菜の国際見本市で、今年は前回を上回る813業者(43カ国)が出展し、76カ国から1万3千名が来場した。京都市場からは京野菜として、九条ねぎ、万願寺とうがらし、大黒本しめじなど、果実として京たんご梨、桃、シャインマスカット、遠地野菜として徳島県産里むすめや加賀野菜が出展された。

会場では、内田隆京都青果協会会長(京都青果合同株式会社代表取締役社長)、京都青果合同株式会社の向瀬正人取締役果実統括担当、松本雄治執行役員近郷野菜部統括担当、京都市中央市場の廣元慶太郎流通促進係長ら関係者12名が、展示や試食を通じて世界各国のバイヤーに日本産の青果物をアピールした。

バイヤーにPRする
内田隆京都青果協会会長

水産事務所棟解体に伴う引越しを実施

9月から水産事務所棟の解体が行われるため、8月中下旬に水産事務所棟入所団体の引越しが行われた。各団体の移転先は表の通り。なお、電話番号の変更はない。

団体名	移転先
大京魚類株式会社	八坂仮設棟２、３階
株式会社大水京都支社	青果３号棟３、４階
京都全魚類卸協同組合	綜合仮設店舗棟１、２階
京都塩干魚卸協同組合	関連10号棟３階
京都水産物小売団体連合会 京都水産物商業協同組合 京都魚菜鮮商協同組合 京都海産物買出人組合 京都塩干乾物小売業組合	関連10号棟２階
京都府寿司生活衛生同業組合	
日本通運株式会社　京都支店 京都市場営業所	
市場親和納税貯蓄組合	
京都生魚卸納税貯蓄組合	
京都府内水面漁業協同組合連合会	
計量自治会	

平成29年度せり人登録証交付式

7月31日(月)、関連11号棟3階第一会議室で、せり人登録証の交付式が行われた。今年度のせり人認定試験合格者は6名。北村繁明京都市中央卸売市場第一市場次長から一人ずつ、せり人登録証書とせり人記章が交付された。続いて、北村次長より「この度はおめでとうございます。第一市場の取引の公正さを担保するせり人の資格を活かしていってください。ただし、せり人の資格を取れれば一人前なのではなく、仲卸業者などの信頼を得られて一人前になる。市場を取り巻く情勢は卸売市場法の改正等で厳しいが、市場は生鮮食料品を迅速かつ適正に供給する場として今後も訴えていく。市場で働く人々の模範となる行動をお願いしたい」と挨拶があった。

業界代表の大石光二大京魚類株式会社代表取締役社長からは「安全・安心とともに適正な取引が求められており、せりも相対も適正を旨としている。各企業の根幹であるため、皆さんには今後の活躍を祈念しています」と祝辞を述べた。その後、登録者を代表して大京魚類株式会社の佐治龍大氏が決意の言葉を述べた。

登録者(順不同、敬称略):京都青果合同㈱所属、磯部翔平、吉岡正裕、高山栄次／株式会社大水京都支社所属、長尾章吾／大京魚類㈱、佐治龍大、畑光宏

決意の言葉を述べる
登録者代表の佐治龍大氏

早朝市場見学と寿司にぎり教室　開催

9月9日(土)、「京の夏の旅」の一環として「早朝市場見学と寿司にぎり教室」が開催された。主催は、京都市中央卸売市場協会。18名の参加者は、午前8時15分から「市場の一日」のDVDを見たあと、約2時間かけて水産関係と青果関係を回り、せりの見学や食べ比べ、卸売会社や仲卸組合の仕事の説明を聞くなどした。

その後、京・朱雀すし市場で寿司にぎり教室が行われ、まぐろやサーモンを使ったにぎり寿司五貫と巻き寿司を作り、市場の食材を堪能した。

にぎり寿司の作り方を学ぶ
参加者たち

京都市動物園に氷をプレゼント

7月17日(月・祝)、京都全魚類卸協同組合(理事長:池本周三)が、京都市動物園の動物達に涼を取ってもらうため氷のケーキをプレゼントした。午前10時、同組合の職員がオレンジ、キウイ、グレープフルーツ、ブドウ、リンゴの果物が入った合計480キロの氷をゾウやチンパンジー、ワオキツネザル、ニホンザル、ゴリラ、ツキノワグマの6種の動物舎に順次運びこんだ。

梅雨空の蒸し暑いこの日、多くの家族連れの市民に混じって山本達夫京都市中央卸売市場場長はじめ同組合役員が見守る中、動物たちは氷のケーキを舐めて溶かし、大好物の果物を頬張った。中でもゾウは、長い鼻と足で巧みに氷のケーキを割って果物を取り出し口に運んでいた。来園者たちは、普段見られない動物たちのしぐさに歓声をあげ、写真に収めていた。

フルーツ入りの氷を味わうゾウ

第62回場内親善野球大会開催

8月30日(水)、殿田公園グラウンドで第62回場内親善野球大会が開催された。午前8時30分、松岡邦治野球部長(京都全魚類卸協同組合常任理事)による開会挨拶と始球式に続き、熱戦が繰り広げられた。

合計4チームが出場し、優勝決定戦では京果チームが青卸チームに6対2で勝った。両チームは、10月4日(水)に開催される京阪神中央卸売市場体育連盟親善競技大会に代表チームとして出場する。

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
京果	3	0	9	0	1	—	—	13
塩卸	0	1	1	0	0	—	—	2

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
青卸	0	0	2	1	0	—	—	3
全卸	2	1	0	0	0	—	—	3

(ジャンケンで青卸勝ち)

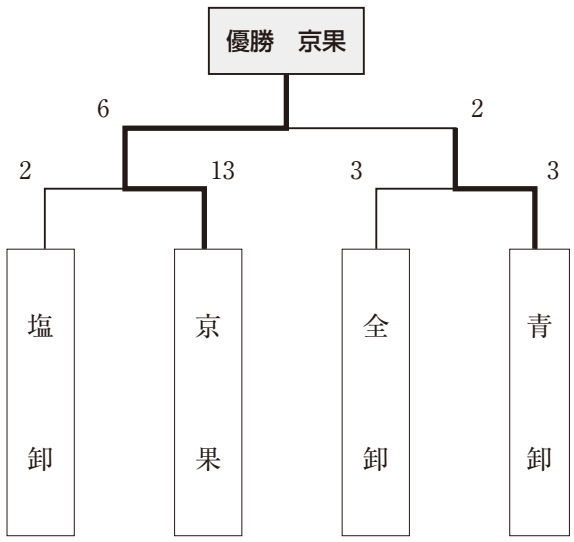
決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
青卸	0	2	0	0	0	0	0	2
京果	1	0	2	1	2	0	×	6

第62回 場内親善野球大会　成績表

Aリーグ

優　勝　京都青果合同株式会社
準優勝　京都中央市場青果卸売協同組合
3　位　京都全魚類卸協同組合
　　京都塩干魚卸協同組合



京都青果合同株式会社が京都市教育長より感謝状贈呈

9月1日(金)、京都市役所教育長室にて、内田隆京都青果合同株式会社代表取締役社長が同社の食育推進事業について、在田正秀教育長より感謝状を贈呈された。

京都青果合同㈱は、平成15年より各都道府県の経済農業協同組合連合会やJA、教育委員会等と連携し、小学校において野菜の種まき・収穫・調理等を通じて、子どもたちが食べ物を育てる大変さや喜び、食に対する興味と関心を高められるよう実施してきた。最初の食育活動は梅小路小学校における漬け梅講習会で、下京区の小学校に取組の輪が広がっていった。平成18年からは教育委員会が同社の活動に係る各学校との調整役を開始し、いっそう食育活動は盛んになった。平成28年度末で京都市立小学校全166校の食育活動が完了したため、感謝状が贈呈された。なお、延べ校数は260校。

在田正秀京都市教育長と
内田隆京都青果合同㈱代表取締役社長

秋の味覚が京都市場に

9月1日(金)、京のブランド産品「京たんご梨」が初入荷した。しゃきっとした食感と爽やかな甘味が特徴で、京丹後市の久美浜町と網野町で約16ヘクタール栽培されている。今年は天候に恵まれたため、大きさ・糖度ともに充分なできになった。

9月5日(火)には、秋の味覚の代名詞「紫ずきん」が初入荷された。大きな粒ともちもちした食感が特徴で、京都府内で広く栽培されている。今年は適度な雨に恵まれたため生育状況も順調で、この日は秀ランクの商品約494kgを含む合計約600kgがせりにかけられ1袋(200g)入りの最高値は例年より約100円高い530円だった。

9月15日(金)は、JAフルーツ山梨による「シャインマスカット」のトップセールスが行われた。果実せり場で試食会が行われたあと、中澤昭JAフルーツ山梨代表理事組合長及び露地ぶどう部会長の挨拶があった。

入荷した京たんご梨

紫ずきんの初せり

入荷したシャインマスカット

大分県産水産物PR試食会開催

7月28日(金)、大分県産の水産物のPRを目的とする試食会が、料理店、水産小売店、仲卸、卸、市場協会など60人余りが参加して京・朱雀すし市場で開催された。

中央のテーブルには、大分県産のヒラマサやかぼすヒラメなどのブランド魚に加え、ごち網漁で水揚げされたマダイ、はえ縄釣りで漁獲されたハモが、刺身、寿司、落としに料理されて並べられた。試食会は、村井尚大分県農林水産部理事兼水産担当審議官と濵﨑徹京都水産協会副会長の挨拶で始まり、食材の説明後に試食が行われた。大分県産ヒラマサについては「程よい脂ののりとコリコリした食感があり美味しい」、かぼすブリには「身はさっぱりとして臭みがなく、ほんのりとかぼすの香りがして美味しい」といった感想が聞かれた。

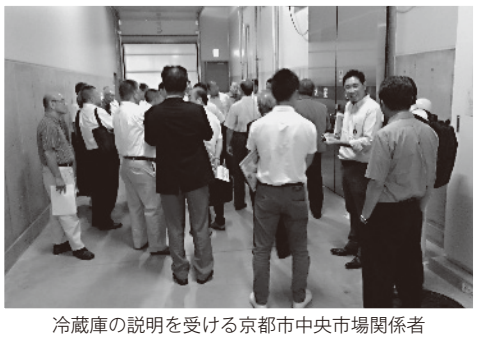
開会挨拶する
濵﨑徹京都水産協会副会長

神戸市中央卸売市場東部市場の加工場・冷蔵庫棟の視察

9月11日(月)、水産物部食品品質管理委員会(会長:池本周三京都全魚類卸協同組合理事長)の主催で、神戸市中央卸売市場東部市場の加工場・冷蔵庫棟の視察が行われた。同施設棟は今年7月にオープンしたもので、京都市場の施設整備及び水産物の品質管理の取組み強化に生かすことを目的とし、同委員会のメンバー、開設者合わせて20名が参加した。

午後1時半に同市場に着いた一行は、同市場の村上義國神戸市東部水産物部卸売協同組合理事長、開設者の福岡整備担当係長などの関係者の出迎えを受け、早速視察に入った。同施設棟では、食の安全や今後の卸売市場の施設要求に対応するため「3つのC(コンパクト、コールド、クリーン)」を実現。冷蔵庫の集約で商品の速やかな運搬とスムーズな運び出しが可能になり、鮮度を保って出荷できる。施設内の温度管理と冷蔵庫の取扱物品に合わせた温度設定で、施設内から冷気を逃がすことなく直接トラックに積みこめる。太陽光パネルの設置と屋上緑化で、環境に優しい市場施設が実現。以上のような特徴により、同市場の取扱数量の増加を目指している。

一行は視察後に同市場関係者と活発な意見交換を図り、辻泰三京都塩干魚卸協同組合理事長のお礼の挨拶で終了した。


冷蔵庫の説明を受ける京都市中央市場関係者

京都市中央卸売市場第一市場　青果・水産卸売業者取扱高

(単位:円)

平成29年7月

	野　菜	前年対比	果　実	前年対比	合　計	前年対比
京　果	3,713,043,282	83.9%	1,459,508,511	97.3%	5,172,551,793	87.3%

	生　鮮	前年対比	冷凍・加工	前年対比	合　計	前年対比
大　京	990,289,970	92.3%	850,945,142	101.5%	1,841,235,112	96.4%
大　水	704,805,572	97.7%	612,456,650	82.6%	1,317,262,222	90.0%
合計	1,695,095,542	94.5%	1,463,401,792	92.6%	3,158,497,334	93.6%

平成29年8月

	野　菜	前年対比	果　実	前年対比	合　計	前年対比
京　果	4,273,024,202	94.2%	1,461,456,582	102.2%	5,734,480,784	96.1%

	生　鮮	前年対比	冷凍・加工	前年対比	合　計	前年対比
大　京	999,348,915	97.6%	708,012,108	87.1%	1,707,361,023	93.0%
大　水	723,933,266	100.4%	650,211,883	97.1%	1,374,145,149	98.8%
合計	1,723,282,181	98.8%	1,358,223,991	91.6%	3,081,506,172	95.5%